

## 第2章 東広島市の文化芸術を取り巻く現状と課題

### 1 東広島市の文化芸術を特徴づけるもの

本市の文化芸術は、瀬戸内海から賀茂台地に広がる豊かな自然や長い歴史の中で育まれたものであり、私たちの生活やそれを支える産業とは密接な関係を持っています。これからもこうした東広島市らしさ・東広島市にしかないものが文化芸術を育てる土壌となり、本市の文化芸術を特徴づけるものとなっていくのです。

#### (1) 世界に誇る酒の都・酒文化

灘、伏見と並ぶ日本三大銘醸地である西条を擁する東広島には、10の蔵元があり、地域の自然資源と伝統的な醸造技術を活かした酒造りが行われています。白壁の街並みとともに、酒造り唄や酒造りに関する民俗資料など、酒文化に関する歴史・文化資源が数多く残されています。

海外市場でのブームを背景に、日本酒は、国内だけでなく世界に誇る文化として、本市を代表するブランドとなっており、広島中央サイエンスパークには、日本で唯一の酒に関する国の研究機関である「酒類総合研究所」も立地しています。

酒文化を活かした、本市最大の文化イベントである酒まつりは、毎年20万人を超える来場者があり、酒蔵通りにおける酒蔵見学や酒蔵コンサート等のイベントのほか、オペラ「白壁の街」や組曲「西條」など、市内の小・中学生による東広島の歴史や文化を織り込んだ創作表現の発表等が行われています。



#### (2) 安芸の穀倉地帯としての農業・米文化

本市は、米の収穫量、作付け面積ともに県内1位を誇る穀倉地帯です。弥生時代から米作りの地域として栄え、三ツ城古墳をはじめとした古墳や集落跡など、多数の文化財が集積しています。

市内にはこうした農業・米文化を背景に、日本初の動力式精米機を開発し、高度な精米技術により、西条の酒造りの発展だけでなく、日本の農業や食品加工の生産性向上に大きく寄与してきた食品加工機総合メーカーがあります。



### (3) 瀬戸内海から賀茂台地まで広がる里山・里海文化

本市は、平成17年に、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町、安芸津町と合併し、瀬戸内海から賀茂台地まで広がる広大な市域を有し、里山・里海の多様で地域性豊かな文化資源が集積しています。

代表的な資源として、賀茂台地の各地で継承されている神楽をはじめとした伝統芸能や、奈良時代に創建された国分寺、江戸時代の賑わいを伝える町家や街並み、万葉集にも登場する港町などの歴史資源、西条柿、安芸津のジャガイモや牡蠣、福富のエゴマなど地域の自然や歴史に根づいた個性豊かな食の文化などがあります。

また、こうした文化的背景のもと、道の駅などのグリーンツーリズムに活用できる観光施設が立地しています。



### (4) 大学・研究機関等の国際的な知的資源

本市には、4つの大学をはじめとした多数の教育研究機関が立地しています。国内最大級の光学赤外線望遠鏡「かなた」を備えた広島大学宇宙科学センター附属東広島天文台、国立大学で唯一の放射光実験施設であり、全国共同利用施設として国内外の研究者による公募型の共同研究を推進している放射光科学研究センター、産業や技術の高度化を支援する研究開発拠点である広島テクノプラザなどの日本を代表する研究施設、そして中国・四国地方の国際協力、国際貢献の拠点施設であるひろしま国際プラザなどがあります。



こうした教育研究機関の集積を背景に、留学生や海外からの研修生などが多いことも特徴であり、海外への日本文化の発信機会や外国文化の学習機会に恵まれるなど、多面的な国際交流が盛んです。

本市では、「未来にはばたく国際学術研究都市」を目指し、大学との包括的な連携協定の締結などにより、大学と地域が連携したまちづくりを推進しており、芸術家等の養成や文化芸術を活用した国際交流など、多面的な文化芸術の振興への知的資源の活用が可能です。

(写真) 東広島市、東広島市観光協会HP

## 2 東広島市の文化芸術の現状と課題

### (1) 文化芸術活動が行われる場

市内には、市民の「文化芸術鑑賞」、「文化芸術創造活動」、「生涯学習活動」の中核的施設として、東広島芸術文化ホール「くらら」が平成28年4月に開館するほか、東広島市市民文化センターの「アザレアホール」、黒瀬生涯学習センターの「せせらぎホール」、豊栄生涯学習センターの「アゼイリアホール」が整備されています。大学においても広島大学サタケメモリアルホール、広島国際大学講堂などのホールがあり、大学の行事だけでなく様々な催し物に活用されています。

東広島市立美術館には、国内の作家による近現代版画や中国地方とその周辺地域で活躍中の作家による絵画や陶芸作品などが収蔵され、特に、その7割を占める日本の近現代版画は、明治以降の日本の代表的な作家の作品が収集されているなど、西日本では有数の版画コレクションを形成しています。市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するため、収蔵作品と展示内容の充実を図っていますが、現施設の規模は小さく、施設・設備が老朽化し、周辺に利便施設がないなどの課題を抱えています。中心市街地活性化というまちづくりの視点から、市中心部では平成32年度開館に向け新しい美術館の整備が進められています。

三永・八本松・安芸津の3つの歴史民俗資料館や出土文化財管理センターについては、農具や産業、酒造りなどに関する民俗資料や特色ある出土文化財が一般公開されています。また、広島大学総合博物館では、大学で所蔵する学術標本資料が公開されているほか、エコミュージアムの考え方を取り入れ、豊かな自然環境に恵まれたキャンパス全体で博物館活動を展開しています。

酒蔵通りでは、東広島市観光協会などが中心となり、酒蔵を活用した音楽やアートなどの文化芸術関連のイベントも開催されています。

#### 【東広島市立美術館入館者数】

単位:人

H22	H23	H24	H25	H26	H27
8,775	10,300	8,290	9,890	10,158	11,396

#### 【主な美術館事業(平成27年度)】

##### 所蔵企画・作品展

展覧会名	会期	内容	日数(日)	入館者数(人)
第1期所蔵作品展 び・び・美!アートきたー	4月4日 ~ 5月17日	平成26年度に収蔵した版画・陶芸・金工等を中心とした作品54点を展示	38	343
第2期所蔵作品展 やきものは謳う	12月17日 ~ 1月31日	市内遺跡から出土した土器等と、所蔵作品の現代陶芸を形・文様・色のテーマごとに作品47点を展示	34	260

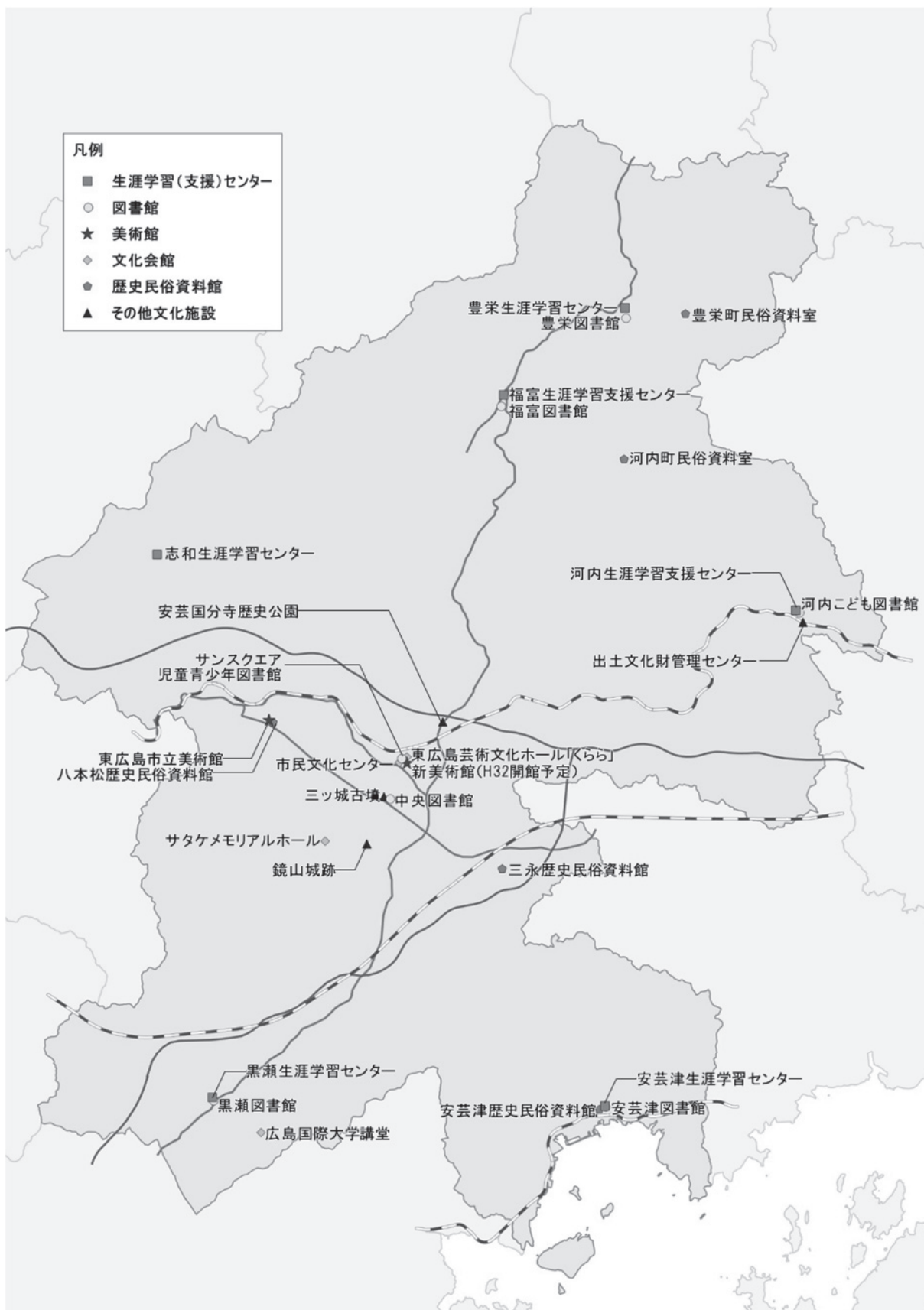
## 美術館企画展

展覧会名	会期	内容	日数 (日)	入館者数 (人)
現代日本版画展	5月23日 ~ 6月21日	一般社団法人日本版画協会会員の作品と、第82回版画展で受賞した若手作家の作品94点を展示	26	685
第30回現代絵本作家原画展	7月3日 ~ 8月16日	来館者アンケートで人気の高い作家や、広島在住の作家の原画122点を展示。作家：石井聖岳・かがくいひろし・どいかや・nakaban・毛利まさみち	39	4,230
現代の造形-Life&Art- 「生活を彩る陶-食の器-」	2月12日 ~ 3月20日	「食の器」をテーマに20名の陶芸家の作品を展示した展覧会	33	1,355

## 教育委員会企画展

展覧会名	会期	内容	日数 (日)	入館者数 (人)
こどもアートベンチャー 2015ワークショップ	8月23日	保育所、幼稚園等年長児によるワークショップ	1	425
こどもアートベンチャー 2015成果展示	8月25日 ~ 8月30日	ワークショップの成果展示	6	288
第28回東広島市美術展 前期展(絵画・彫刻・デザイン)	10月31日 ~ 11月15日	市民から公募し、入賞・入選した作品と審査員の招待作品を展示	14	609
第28回東広島市美術展 後期展(書・工芸・写真)	11月12日 ~ 12月6日	市民から公募し、入賞・入選した作品と審査員の招待作品を展示	14	593

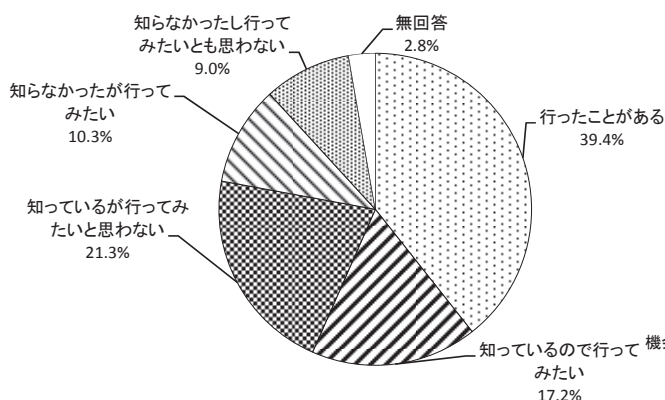
【文化施設等の設置状況】



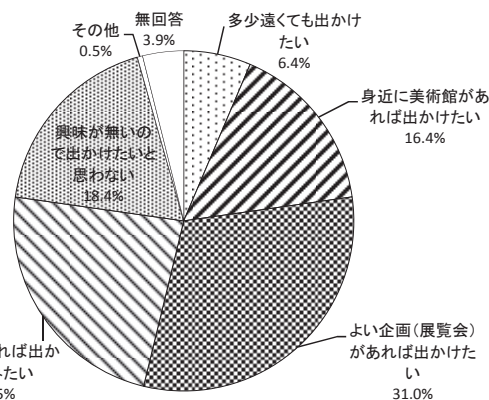
市民満足度調査によると、東広島市立美術館に行ったことがある市民は約4割にとどまっています。一方で、余暇を利用して美術鑑賞に出かけてみたいとする市民は約8割に上り、市民の文化芸術鑑賞に対する関心は高く、より多くの市民が文化芸術に気軽に触れることのできる場づくりが求められています。

また、「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針」においては、実演芸術団体や大学等との連携・協力による専門的人材の育成や施設の効果的活用の検討等が必要とされており、新たな文化芸術拠点となる東広島芸術文化ホール「くらら」、新美術館についても、その機能を十分に発揮するため、既存の文化芸術資源や大学等と連携を図るとともに、こうした核となる施設整備がより優れた文化芸術体験・活動へと連なっていくよう取り組んでいく必要があります。

【美術館の利用状況】



【美術鑑賞への関心】



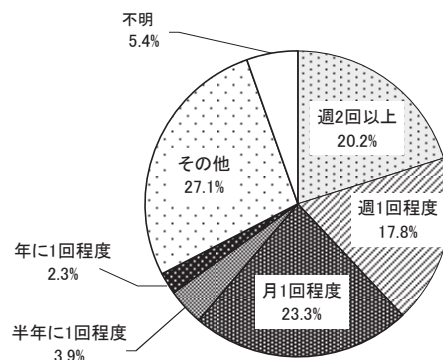
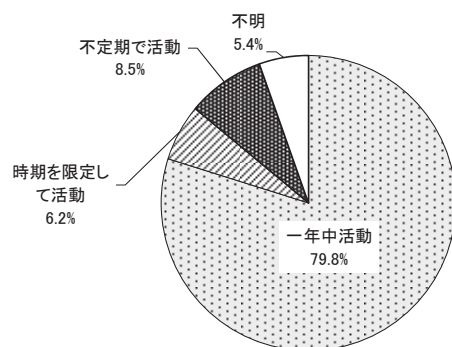
## (2) 文化芸術活動を行う人々

文化芸術団体へのアンケート調査によると、8割を超える団体が、年間を通じて活動し、約5割の団体が週1回以上の頻度で活動しており、市民レベルでの文化芸術活動は多様で活発であると考えられます。

このような文化芸術活動の成果を発表する場として、東広島市立美術館での市美術展や市民ギャラリーでの展覧会、中央生涯学習センターでのサークル活動発表会などが開催されています。また、「ひがしひろしま音楽祭」、「東広島市生涯学習フェスティバル」などのイベントにも、多くの団体が参加し、発表活動を行っています。

一方で、団体へのアンケート調査においては、各団体の構成員の約半数が65歳以上となっており、若い世代が文化芸術活動に関心を持ち、参画していけるよう、文化芸術の裾野を広げていく必要があります。学校教育においては、東

【文化芸術団体の活動状況(上)、活動頻度(下)】



広島市立美術館の所蔵作品を市内の小中学校へ持参し、鑑賞教育を行う「出前美術館」や、プロの芸術家を学校に派遣し、児童・生徒に生き方や芸術に対する思いを伝える「夢・感動推進事業」により多様な鑑賞や体験の機会が設けられています。

また、本市には、豊栄町の神楽（五行祭）や河内町の小田神楽、宇山民謡、安芸津町の三津祇園祭り、祝詞山八幡神社大祭の神賑行列など地域の生活に密着した、個性豊かな伝統文化や郷土芸能が多数残されているほか、農業をはじめとした、里山・里海の豊かな自然を活かした産業や文化が集積しており、これらの貴重な資源を、地域の財産として次の世代へ継承していくことが重要な課題となっています。学校教育においては、郷土の伝統文化についての理解を深めるための教育として、平成20年度より全市立幼稚園、小学校、中学校で「一校一和文化学習」に取り組んでいるところであり、今後も、このような取組の充実を図ることが求められます。

### 【平成27年度一校一和文化学習の実施例】

中学校区	学校	テーマ	取組内容例
西条中学校区	西条小学校	「郷土西条の伝統、西条小学校の伝統を引き継ぐ」～第6学年 オペラ「白壁の街」の取組～	オペラ「白壁の街」
	寺西小学校	寺西の大地に伝統と文化を轟かせる。	・Let's 探求 和文化 ・ふるさとを見つめて「大地の響」
	西条中学校	地域文化の伝承と発展を目指して	総合芸術である組曲「西條」を継承発展させる
向陽中学校区	郷田小学校	ふるさとをむねに～発信！わたしたち郷田小のたからもの～	郷田の誇り「沖田嘉市物語」(和太鼓、盆踊り歌)
	板城小学校	「身近な和文化を知り、体験しよう」	全校俳句作り
	三永小学校	つなごう ふるさと 三永の心	総合表現「ふるさと三永」
	向陽中学校	「生き方を考える」和文化学習	全校尺八発表会
八本松中学校区	八本松中央幼稚園	伝承遊び「めざせ！昔遊び名人」	挑戦！「けん玉」名人
	原小学校	和の心を受け継ぐ	源平時代から伝わる伝説の総合表現「菖蒲の前伝説」
	吉川小学校	吉川の和を受け継ぎ、創り出す私たち	吉川子ども太鼓の発表
	八本松小学校	地域学習：学び 伝える 八本松の心	地域をテーマにした創作表現「いにしへの響」
	八本松中学校	「和文化に親しみ、和文化学習を推進する」	食育を通して「和風出汁」について学習
志和中学校区	西志和小学校	伝統の襷を受け継ぎ、自信と誇りにつなげよう	総合表現「たかはち山」
	志和堀小学校	志和堀は「ホタル・サルビア・大イチョウ」和文化と関連させて	大好き ホタルまつり
	東志和小学校	和文化で 輪と話が広がる東志和 ～ 和 輪 話 ～	茶道に挑戦
	志和中学校	和文化学習の創造 ～心・技・体一致の学び～	杖道で形を学び、心を鍛えよう
高屋中学校区	小谷小学校	たのしい おいしい なつかしい ふるさと	大豆栽培、きなこ・みそづくり(2年)
	高屋東小学校	伝統文化を伝えよう～極める「けん玉」～	総合表現「絆」
	高屋西小学校	しっかりと受け継ぎたい～和文化に込められた人々の知恵と努力、そして願いを～	俳句で思いを伝えよう
	造賀小学校	「受け継ごう！発信しよう！和の心」	・和太鼓 ・合唱組曲「造賀の四季」
	高屋中学校	箏の習得(2年音楽)と茶華道部による茶道・琴・華道の発表	和文化(箏・茶道・華道の稽古)の習得 ・地域の方々への和文化発表
磯松中学校区	川上小学校	親しもう！楽しもう！日本の文化	・音楽体験(和太鼓・竹太鼓・樽太鼓・締太鼓) ・音楽体験(箏・尺八)
	平岩小学校	平岩小の日本文化「俳句の里」「和太鼓」の継承	平和太鼓の演奏をしよう
	磯松中学校	「伝統を受け継ぐ」	地域伝説の掘り起こし

中学校区	学校	テーマ	取組内容例
松賀 中学校区	御菌宇幼稚園	つながるえがお！あふれるパワー！創作表現「舞☆ひかり・そら★プラス」	創作表現「舞☆ひかり・そら★プラス」
	東西条小学校	みつめようふるさと	第16代「ふるさと安芸国分寺」
	御菌宇小学校	発見！地域の歴史 創作表現「響」	調べたことを和楽器で表現しよう
	松賀中学校	凜 ～和文化を取り入れた特色ある教育活動を通して～	・「俳句甲子園」に挑戦しよう ・茶道でおもてなしをしよう
高美が丘 中学校区	高美が丘小学校	高美が丘の伝統・文化の継承	・表現「高美が丘の風」 ・室町文化体験
	高美が丘中学校	かわりあい心にひびく和化学習	菊づくり
黒瀬 中学校区	板城西小学校	和の心の継承 地域との絆と文化の継承	能を体験しよう
	上黒瀬小学校	伝統文化を体験しよう、親しもう！和の心を育もう！	書き初めに挑戦しよう
	乃美尾小学校	乃美尾でお茶をどうぞ！	茶会の計画・実施
	中黒瀬小学校	地域とともに	とんど・もちつき(全学年)
	下黒瀬小学校	組曲「黒瀬の四季」	和太鼓や篠笛等の伝統楽器への取組
	黒瀬中学校	「学ぼう 伝えよう 広めよう 和の文化」	茶道・華道・和装にふれてみよう
福富 中学校区	竹仁小学校	「ふるさと竹仁」和文化継承	・俳句づくり ・しゃくなげ太鼓 ・もち米づくり ・餅つきふれあい交流会
	久芳小学校	「地域の伝統をつないでいこう」	全校群読発表「虚空蔵山の水岩伝説(地域に伝わる民話)」及び和太鼓演奏「虚空蔵」
	福富中学校	「和文化教育」～伝えよう 育てよう 和の心～	・表現活動「調和～Fukutomi2015～」 ・篠笛演奏(全学年)
豊栄 中学校区	豊栄小学校	「和文化のふるさと 豊栄小学校」	めざせ 百人一首名人
	豊栄中学校	「地域をつなぐ和の文化」～花づくりを通して、地域との連携・保小中高連携を深める～	菊作り
河内 中学校区	河内小学校	和文化を軸にした教育活動「河内子ども神楽」の継承、「歌で広がる心の絆」他	・河内こども神楽(第6学年) ・童謡の一人歌い(第1学年～)
	入野小学校	受け継ごう そして伝えよう ふるさと入野	受け継ごう篳太鼓
	河内西小学校	「伝えよう！河内西の伝統」	受け継ごう！河内豊作太鼓
	河内中学校	和心“こうち”	篠笛の演奏、宇山地域の民謡の演奏・演技
安芸津 中学校区	木谷小学校	受け継ぎ、つなごう！和文化を	和太鼓
	三津小学校	ふるさとの誇り～三津の伝統文化継承～	・創作表現活動「杜氏の里」 ・三津地域由来の盆踊り「三津盆踊り」 ・和文化「琴・茶道・華道」 ・ふるさとの四季を感じる表現「季節の俳句」
	風早小学校	箏の伝統を受け継ぐ「風早の箏」	箏曲の演奏をしよう
	安芸津中学校	万葉の心を詠む(短歌教室)	万葉の心を詠む(短歌教室)
中央 中学校区	寺西小学校(再掲)	寺西の大地に伝統と文化を轟かせる。	・Let's 探求 和文化 ・ふるさとを見つめて「大地の響」
	三ツ城小学校	「和文化にふれよう」	・伝統工芸にふれよう ・花々を見つめて(水墨画)
	中央中学校	「『和心』のあふれる中央中学校に」	・日本の四季を歌で綴る「日本の歌『四季』」 ・おもてなしの心を学ぶ「茶道」

(資料) 東広島市



### (3) 東広島市らしさの醸成と発信

本市には、安芸国分寺や福成寺、竹林寺、榊山八幡神社などの寺社、鏡山城跡、三ツ城古墳などの史跡、旧木原家住宅や旧石井家住宅などの歴史的建造物、白市のまち並み景観など、弥生時代から昭和にかけて、人々の生活の痕跡を示す文化財が数多く残されています。こうした歴史文化資源を活用し、文化財を利用したコンサートや講演会、出前講座などの取組を実施しているほか、東広島郷土史研究会による「東広島の史跡・文化財を見て歩く会」などのイベントも開催されていますが、歴史文化資源の全国的な発信としては十分とはいえない状況であり、市内外への情報発信機能の強化が必要です。また、鏡山城の歴史や港町・安芸津と酒造りの関係など、東広島ならではの歴史資源が広く認知されていないなど、新たな芽の掘り起こしとブラッシュアップも必要です。

一方で、本市の大きな特徴である酒造り文化については、全国的な知名度も高く、本市を代表するブランドへと成長しています。市内で最大のイベントである酒まつりには、県内外から多くの観光客が訪れるほか、「西条酒蔵通りまるごと博物館」など、酒造り文化を活用した観光振興への取組も進められています。一方で、酒蔵通りの来訪観光客数は伸び悩んでおり、新たに整備される東広島芸術文化ホール「くらら」や新美術館と連携した誘客や情報発信などにより、更なるブランド力の強化が求められます。

また、文化芸術振興基本法の基本的方針においては、文化芸術の創造性や魅力を観光等の分野に活用し、地域の活性化を図る取組の促進が必要とされています。東広島市長戦略の基本方針においても、本市のまちづくりをけん引する要素のひとつとして、文化芸術の活用が掲げられており、「くらら」や新美術館の整備を契機とした、より質の高い、新たな文化芸術ブランドの形成も求められています。

【酒蔵通り来訪観光客数】

単位:人

H22	H23	H24	H25	H26
20,392	26,212	26,455	27,091	23,612

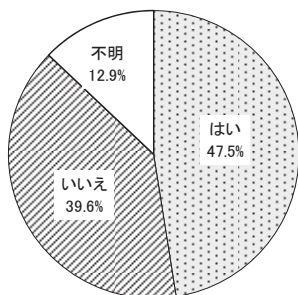
(資料) 東広島市観光協会

(注) J R 西条駅観光案内所来訪者数による。

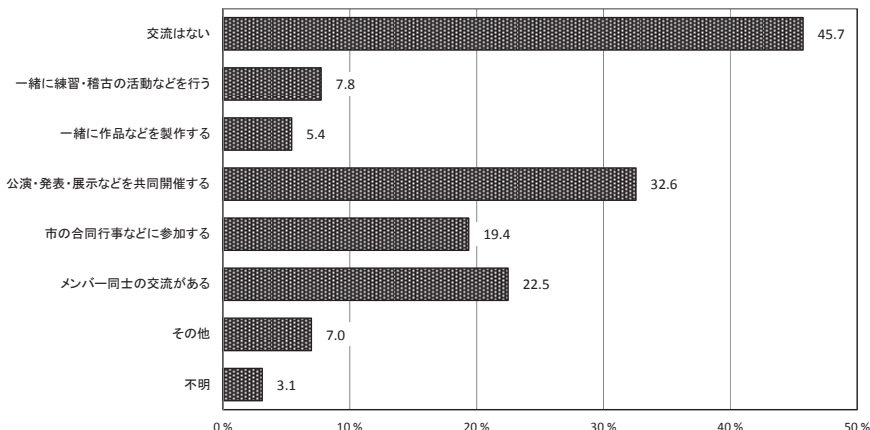
### (4) 人や団体、場のつながり（ネットワーク化）

本市においては、多くの市民が歌謡や吟詠、舞踊や書道などの様々な種類の文化芸術活動に取り組んでいます。また、このほかにも、吹奏楽、バレエ、演劇、ミュージカルなど、様々な分野において多数の文化芸術団体や個人による活動が行われています。一方で、団体や市民同士の連携・交流が十分に行われている状況とはいえ、団体へのアンケート調査においても、「他団体との交流がない」とする団体が約4割に上る一方で、約5割の団体が他の団体との交流を望んでおり、団体同志のネットワーク形成や交流の場づくりが求められます。

【他の団体との交流を望むか】



【他の団体との交流の有無】



また、市内には、広島大学、広島国際大学、近畿大学工学部、エリザベト音楽大学の4つの大学が立地しています。広島大学教職員OBを中心とした「広島大学マスターズ」による地域との連携・協力活動なども行われていますが、大学・学生と地域とのつながりは十分ではなく、文化芸術の分野においても、こうした知的資源の集積や文化芸術に関する専門的人材の活用が必要です。

さらに、文化芸術振興基本法においては、国際交流の推進による文化芸術活動の発展が求められています。広島大学を中心に、中国や東南アジアを中心とした多くの留学生が在籍しているほか、「ひろしま国際プラザ」をはじめとした多数の教育研究機関があることから、多くの外国人研修生なども市内に滞在しています。このような海外からの留学生や研修生等を対象とした地域文化に関する交流イベントが開催されており、今後も、こうした国際的な文化交流の更なる充実・発展により、国際的な視点からの文化芸術振興が求められます。

【大学等の立地状況】



(資料) 各大学ホームページ

(注) エリザベト音楽大学は大学全体の数値。